



園だより[6月]



(ふじみこども園 HP)

令和 6 年 5 月 31 日
千代田区立ふじみこども園

子どものワクワクを大切に

幼児部副園長 阿部亜紀代

木々の葉が青々と茂り、初夏の訪れを感じる季節となりました。

新年度がスタートしてから2か月が経ち、子どもたちも園生活に慣れ、好きな遊びを保育室やテラスなどいろいろな場所で楽しんでいます。その中でも、園庭は子どもたちが大好きな場所です。「先生、園庭行ってきまーす。」と声が聞こえ、園庭の靴に履き替えて子どもたちが元気に飛び出していきます。

ある日、職員室から園庭を見ているとジャングルジムの裏側で何人かの子どもたちがしゃがみ込んで穴を掘っていました。そこは、昨年度のふぁいと組の子どもたちが“ようちゅうほてる”と名付けた場所で名の通り、幼虫やいろいろな虫が集まって元気に過ごせるようにという願いがこもった、子どもたちのお気に入りの場所となっています。虫が喜ぶようにと、ほてるはふかふかの土になっています。そのふかふかの土の感触を楽しみながら、何かを見つけたようです。みんなで見つけたものをのぞき込んで、顔を見合わせ話し合いをしていました。「先生、見て見て。これ?」と両手で大切そうに私のところへ持ってきて見せてくれたのは1センチぐらいの小さな幼虫でした。子どもと一緒に覗き込みながら「幼虫だね?何の幼虫かな?」と聞くと「カブトムシだよ」「え、クワガタじゃない?」と一生懸命自分の考えを話していました。これからどうしていくのか、話を聞いていると“育てるには何が必要か”“どうやったら大きくなるか”など自分の思ったことを言葉にし、友達の意見にも耳を傾け考えていました。子どもたちから出た意見がうまくいかないかもしれません。それでも、この経験は子どもたちの成長に繋がっていきます。なにより、これからのことを楽しみにしている子どもたちの表情はワクワクがいっぱいで輝いています。自分たちで考えた方法で育ててみるのが、更なる気づきや考えを生み出すことにつながっていきます。

これから、水や泥んこなど季節ならではの遊びの機会が増えていきます。水の不思議さや泥んこの感触、面白さにたくさん触れながら、子どもが感じるいろいろなワクワクを一緒に楽しんでいきたいと思います。

《今月のねらい》

0歳児はいはい組	○安定した生活リズムの中で、梅雨の時期を心地よく過ごす。 ○保育者に見守られながら、一人一人のペースで腹ばいやハイハイ、歩行などで体を動かす。
1歳児とことこ組	○自分のしたいことやしてほしいことなどの自分の気持ちを身振りや表情で伝えようとする。 ○保育者に見守られながら、水や砂、片栗粉などの感触遊びを楽しむ。
2歳児すくすく組	○衣服の着脱や簡単な身の回りのことを保育者と一緒にしたり、自分でやってみようとしたりする。 ○保育者と一緒に好きな遊びをしたり、仲立ちをしてもらいながら気の合う友達と同じ場で遊ぶことを楽しむ。
3歳児ぼうけん組	短時間保育 ○園生活の流れが分かり、身支度や衣服の着脱など、自分でできることは自分でしようとする。 ○砂遊びや水遊びを通して砂や水の感触を楽しみ、開放感を味わいながら伸び伸びと楽しむ。
	長時間保育 ○保育者に見守られながら、着替えや排泄、食後のうがい等、身の回りのことを自分でしようとする。 ○室内や戸外で梅雨の時期ならではの自然(アジサイやカタツムリ)に興味をもつ。
4歳児わんぱく組	短時間保育 ○一緒に遊ぶ友達に、自分の思いを動きや言葉で伝えながら遊ぶことを楽しむ。 ○砂や水の感触を味わい、泥遊びや色水遊びを繰り返し楽しんだり、自分の思いついたことを試したりする。
	長時間保育 ○汗をかくたり、衣服の汚れに気付いたりしたときは、着替えを自分から行う。 ○気にいった遊具や遊びを見つけて、繰り返し遊ぶことを楽しむ。
5歳児ふぁいと組	短時間保育 ○自分の思いを言葉で伝えるとともに、身近な遊具や材料を使って、考えたり工夫したりしながら思いを実現していくことを楽しむ。 ○身近な自然(水や砂・泥等)に進んで関わろうとし、試したり工夫したりしながら特性に気付いたり、梅雨の自然現象に関心を深めたりする。
	長時間保育 ○自分の言葉で思いを伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら遊ぶことを楽しむ。 ○汗の始末や衣服の調整など、健康な生活に必要なことを知り、自ら行おうとする。
預かり保育りす組	○好きな玩具で遊ぶことを楽しむ。(3歳児) ○好きな遊びをする中で、友達や保育者と思いを伝え合う楽しさを感じる。(4・5歳児)

《お 知 ら せ》

<教育実習生の受け入れについて>

5月20日(月)～6月7日(金)、日本女子大学より2名の実習生を受け入れており、7日(金)に期間が終了いたします。

<虫除けスプレーについて>

園では屋外で遊ぶ際に蚊取り線香や電池式の屋外殺虫剤を使用しています。長袖・長ズボンの着用も推奨しています。また、虫に刺されると腫れやすいお子さんも増えておりますので、虫除けスプレーを昨年度と同様使用していきます。使用にあたり不都合がある場合は担任までお申し出ください。

※使用する虫除け剤の成分:「イカリジン」日本では2015年に使用が承認された新しい「虫除け成分」です。

従来から使用されている「ディート」は、生後6か月未満の赤ちゃんには使用が禁じられており、回数制限もありますが、「イカリジン」には年齢や使用回数に制限がありません。

～子どもたち一人一人の人権を守るための取組について～

園では、子どもたちの人権を守るための職員研修を定期的に行っています。また、子どもたちにも身近な出来事の中で、自分も相手も大事にするための指導を適宜行っています。

お子さんの様子等で何かご心配なことなどがありましたら、担任や園内の相談窓口担当に遠慮なくご相談ください。

ふじみこども園 担当：古跡、藤本

園以外の相談場所と連絡先もあわせてお知らせします。

○(乳児部所管)こども支援課 直通03-5211-4117

○(幼児部所管)指導課 直通03-5211-4285

○(第三機関) 千代田区保健福祉オンブズパーソン制度 直通03-5211-4211

○東京都性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター

東京都内から 0120-333-891(無料)

東京都外から 03-6811-0850(有料)

<CES(千代田エコシステム)からのお知らせ>

○6月の重点目標

「野菜や植物の生長を楽しみながら、水やりをしたり、見たり触れたりしながら親しみをもつ。」

「園庭やテラスの自然物を遊びに取り入れて遊ぶ。」

4歳児、5歳児は昨年度栽培で使ったプランターの土を再利用して、春植えの野菜や草花を育てるための土作りをしました。4歳児はナス・ピーマン・トマトの苗などを、5歳児は、キュウリ・エダマメ・パプリカ・ゴーヤ・オクラ・ヒマワリ・ニンジン・ポップコーンなどの苗や種を植えました。3歳児は、ミニトマトやオジギソウの苗を植え、保育室前のテラスに置いて、保育者と一緒に水やりをしながら育て親しんでいます。

気温が上がり始めると、草花を使った色水遊びが始まります。ハーブ、マリーゴールドなどを摘んで、香りや色水遊びを楽しんでいます。アサガオやペチュニアなど、色水遊びに使えるような花などを育てていきます。

子どもたちは園庭のビワやグレープフルーツなどの実に気付き、だんだん大きくなったり色付いたりする様子に興味をもって見えています。

ビワ



グレープフルーツ



「水を大切に使う」

日本は、世界でも数少ない水道水をそのまま飲める国です。水道水が飲めることは当たり前のようになっていますが、地形や気候変動などにより、いつ水不足が深刻になるのかわかりません。

水道水が飲めることに感謝して、水を使った遊びでは水が大切な資源であることを知らせるために、遊びに応じた水の量などをらせていきます。絵本や ICT 教材などを用いて、水の便利さや大切さなども、年齢に応じてらせていきます。

洗顔や手洗いをする際、石鹸で洗っている時は水を止めることも大切です。洗顔や手洗いで約1分間水を流しっぱなしにした場合、約12リットルの水を、歯磨きの際に約30秒間水を流しっぱなしにした場合、約6リットルの水を使うことになるそうです。 参考リンク:くらしと水道(東京都水道局)

6月末からは水遊びも始まるので、子どもたちが水を大切に使う意識をもてるよう指導していきます。

絵本「みずとは なんじゃ？」

